

「歯科医師会と教育についての意見交換会を行いました」

スペシャルニーズ口腔医学講座 歯学教育学部門 片岡竜太

卒業生の多くが地域医療の現場で活躍する本学では、早期から地域医療の現場に触れさせ、そこで活躍する歯科医師の背中を見て、歯科医師としての将来像を考えるために歯科診療所体験実習を山梨県歯科医師会および東京とその近郊の歯科医師会のご協力を得て1年生、3年生で実施しています。昨年度から必修化した「地域連携歯科医療実習Ⅱ」では11月から12月にかけて3期に分けて約100名の歯科医師会の先生方に学生の指導をお願いしています。本実習では指導をしていただく先生方に、現在の昭和大学歯学部における教育と本実習で学生に身につけさせたいことを実習説明会で説明しています。先生方には2日間、始業から終業まで学生を指導していただきました。臨床の最前線にいる先生方に学生の指導を通じて、見えてくる大学における教育について、意見を伺うのが主旨で12月17日（木）学生による実習報告会終了後に意見交換会を開催しました。

報告会への参加者は歯科医師会から約35名うち25名の先生方が報告会に引き続き意見交換会にも参加していただきました。モチベーションの向上、コミュニケーション教育の場、将来の歯科医師像を考える場になっているなど実習の意義を多くの先生方が感じられており、情熱を傾けて指導をしていただいていることがよくわかりました。昨年からの反省から学生の自己紹介シートを実習前に指導していただく先生方へ送付しましたが、出身地やクラブ活動など学生の事を把握しやすくなり充実した実習が行えたというご意見が多く聞かれました。実習時間が長すぎる、目の防護のためゴーグルを持参の方が良い、バキュームの仕方など事前に相互実習を大学で行うことでさらに参加型の実習にできるなど建設的なご意見を頂戴し、今後の実習の改善に活かしていきたいと思えます。その後、タワーレストラン昭和では懇親を深めることができました。本学の教育を理解し、本実習で指導をしていただいた先生に5年生の在宅訪問診療実習もご指導をいただくよう現在準備を進めています。歯科医師会の先生方と大学の教員が同じ気持ちで、学生と患者さんのために歯学教育ができる時代が来たことを実感する会になりました。

最後になりましたが、今回の実習の遂行には、教育連携協定を締結している東京城南地区の品川、荏原、目黒区、大森、蒲田をはじめ世田谷区、玉川、川崎市、新宿区、江戸川区、調布市、清瀬市、船橋、相模原市などの各歯科医師会の方々ならびに昭和大学歯学部同窓会の皆様に大変にお世話になりました。歯科医療の発展のために、今後とも学生教育へのご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

